

2017-07 2017.11.21

2017 年 11 月 議事録

7 回目

平成 29 年 11 月 21 日（火）am10：00～12：30 東児童館調理室

出席者；会田（社協）大竹（社協）山口（ふ）山口（支援）山田（民）神田（東2長）笹澤（ふ）
長澤（ふ）谷澤（東2自警団・五十塚）半田（ふ）守谷（民）鈴木（民）

冒頭に守谷さんから「きずなネットワーク」の組織図（仮）の提示とともに 活動が続けていく上で代表者名や種々の役割分担を割り振って組織、団体として形作っていきたい。という提案があった

役員決めは議論の結果以下の通り委員、役員の割り振りが決まった。

会長		笹澤 浩子	
副会長		山口 武則(HP 制作・更新)	山田 千恵子
会計		半田 和子	
庶務・書記・広報		守谷 陽子	鈴木 淑江

委員決めの中で出てきた確認事項

・連絡会、情報交換の場である**この会の存続を望む**

・組織図云々の定型は未だそこまで育った組織、会では無いが対外的活動には会の名称・代表者名は最低限必要

・若い層が定着しにくい（二代目世代）子供が巣立った後の老夫婦家庭とその数十年後家庭。子育てのために家を建てローン返済のために生活に追われている新住民がこの地域の実情。50代～70代が更に上の世代を見守っている。⇒**高齢者が超高齢者のフォローなので無理な活動はできない。緩い活動を無理なく行える更に順送りできるシステムの土台作りをしたい。**

・**きずなネットワークの指針**として

地域の高齢者及び助けを必要とする人の課題・問題に焦点を当てて ふれあい交流活動と生活支援の二本柱の地域活動を推進していく。

その他

・Tさんの功労賞（表彰状）の件：長年、児童の登下校時の見守り、ゴミ拾い、地域全体のごみ集積所の管理自宅から近い難病を抱えた独居老人を家族以上に身を尽くした見守りを行っている。本人は表彰などを望んで行っているわけではないが、感謝の意を伝える方法を探りたい。

・稲荷前のTさんだけでなく東にも数十年に及びゴミ集積所の管理・児童公園の遊具の掃除などを行っている無言の高齢者がいる。同じく表彰されたい人ではないが感謝の意を伝える方法を探りたい。

・前回話題になった稲荷前Sさんは現在3日ショートステイ2日自宅を繰り返している。

次回会合は12月19日（火）10：00～児童館